

(四) 關係公文書等

① 国内措置關係

沖繩県の郡編成に関する勅令

明治二十九年三月五日第十三号  
内閣官房総務課保管

朕沖繩県ノ郡編成ニ関スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治二十九年三月五日

内閣総理大臣  
内務大臣

勅令第十三号

第一条 那覇首里区ノ区域ヲ除ク外沖繩県ヲ尽シテ左ノ五郡トス

島尻郡 島尻各間切、久米島、慶良間諸島、渡名喜島、粟國

島、伊平屋諸島、島島及大東島

中頭郡 中頭各間切

国頭郡 国頭各間切及伊江島

宮古郡 宮古諸島

八重山郡 八重山諸島

第二条 郡ノ境界若クハ名称ヲ変更スルコトヲ要求スルトキハ内務大臣之ヲ定ム

付 則  
第三条 本令施行ノ時期ハ内務大臣之ヲ定ム

魚釣島外二島ノ所轄決定ニ関シ伺ノ件

甲第一号

管下八重山群島ノ内石垣島ニ接近セル無人島魚釣島外二島ノ義ニ付十八年十一月五日第三百八十四号伺ニ対シ同年十二月五日付ヲ以テ御指令ノ次第モ有之候處右ハ無人島ナルヨリ是迄別ニ所轄ヲモ不相定其儘ニ致置候處昨今ニ至リ水産取締ノ必要ヨリ所轄ヲ被相定度旨八重山島役所ヨリ伺出候次第モ有之旁此際管下八重山島役所々轄ニ相定度此段相伺候也

明治廿三年一月十三日

知 事  
内務大臣宛

標杭建設ニ関スル件

秘別第一三三三号

別紙標杭建設ニ関スル件閣議提出ス

明治廿八年一月十二日

内閣総理大臣伯爵 伊 藤 博文 殿  
内務大臣子爵 野 村 靖 圃

秘別第一三三三号

標杭建設ニ関スル件

沖繩県下八重山群島ノ北西ニ位スル久場島魚釣島ハ從來無人島ナ

レトモ近來ニ至リ該島ヘ向ケ漁業等ヲ試ムル者有之之レカ取締ヲ要スルヲ以テ同県ノ所轄トシ標杭建設致度旨同県知事ヨリ上申有之右ハ同県ノ所轄ト認ムルニ依リ上申ノ通標杭ヲ建設セシメントス  
右閣議ヲ請フ  
明治廿八年一月十二日

内務大臣子爵 野 村 靖 圃

明治廿八年一月十四日

内閣総理大臣 花押  
内閣書記官 花押

外務大臣 花押	大蔵大臣 花押	海軍大臣 花押	文部大臣 花押	逓信大臣 花押
内務大臣 花押	陸軍大臣 花押	司法大臣 花押	農商務大臣 花押	

別紙

内務大臣請議沖繩県下八重山群島ノ北西ニ位スル久場島魚釣島ト称スル無人島ヘ向ケ近來漁業等ヲ試ムルモノ有之為メ取締ヲ要スルニ付テハ同島ノ儀ハ沖繩県ノ所轄ト認ムルヲ以テ標杭建設ノ儀全県知事上申ノ通許可スヘシトノ件ハ別ニ差支モ無之ニ付請議ノ通ニテ然ルヘシ

指 令 案

標杭建設ニ関スル件請議ノ通

明治廿八年一月廿一日 ㊦

沖繩県ト清国トノ間ニ散在スル無人島ノ儀ニ関シ意見問合ノ件

官房甲第三十八号  
沖繩県ト清国トノ間ニ散在セル無人島取調ノ儀ニ付別紙甲号ノ通同県令ヨリ上申ニ付即チ別紙乙号ノ如ク其筋ハ相同度存候就テハ御意見承知致度此段及御照会候也  
明治十八年十月九日

外務卿伯爵 井 上 馨 殿  
内務卿伯爵 山 県 有 朋

追テ別紙取調書類ハ副書無之ニ付御回答ノ節御返付相成度候也  
別紙乙号

太政官上申案

沖繩県ト清国福州トノ間ニ散在セル無人島久米赤島外二島取調ノ儀ニ付別紙之通同県令ヨリ上申候處右諸島ノ儀ハ中山伝信録ニ記載セル島嶼ト同一ノ如ク候ヘ共只針路ノ方向ヲ取リタル迄ニテ別ニ清国所屬ノ証跡ハ少シモ相見ヘ不申且ツ名称ノ如キハ我ト彼ト各其唱フル所ヲ異ニシ沖繩所轄ノ宮古八重山等ニ接近シタル無人ノ島嶼ニ有之候ヘハ同県ニ於テ实地踏ノ上圍標相建候儀差支無之ト相考候間至急何分ノ御詮議相成候儀致度別紙相添此段相伺候也

太政大臣宛

別紙甲号

第三百十五号

久米赤島外二島取調ノ儀ニ付上申

本県ト清国福州間ニ散在セル無人島取調ノ儀ニ付先般在京森本県大書記官ヘ御内命相成候趣ニ依リ取調致候處概略別紙ノ通ニ有之候抑